



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 斎藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員 伊藤 松寿
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F



「2011 東京高円寺阿波踊り」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

本日は、9月9日であり重陽の節句の日ですので、節句についてお話致します。

9月9日を重陽の節句「菊の節句」というわけは？

重陽の節句の起源は、ほかの節句と同様古来中国にさかのぼることができます。中国では、奇数は縁起のよい陽の数とされ、一番大きな陽の数である九が重なる9月9日を、「重陽」として節句のひとつとしてきました。

中国ではこの日、茱萸(しゅゆ=ぐみの実のこと)を袋に入れて丘や山に登ったり、菊の香りを移した菊酒を飲んだりして邪気を払い長命を願うという風習がありました。これが日本に伝わり、平安時代には「重陽の節会(ちょうようのせちえ)」として宮中の行事となり、江戸時代には武家の祝日に。その後明治時代までは庶民のあいだでもさまざまな行事が行われていたといいますが、残念ながら今では私たちの日常生活とは縁遠くなってしまいました。

旧暦の9月9日という現在では10月にあたり、ちょうど田畑の収穫も行われる頃、農山村や庶民の間では栗の節句とも呼ばれて栗ご飯などで節句を祝ったということです。さかんに行われていた重陽の節句が、現代に引き継がれていないのは、旧暦から新暦にこよみが移り、まだ菊が盛んに咲く時期ではなくなってしまったことが大きいかもしれません。

菊の節句をめぐる

重陽の節句は別名、菊の節句とも呼ばれます。宮中行事としては天皇以下が紫宸殿に集まり、詩を詠んだり菊花酒を飲んだりしてけがれを祓い長寿を願いました。また、菊の被綿(きせわた)といって、重陽の節句の前夜にまだつぼみの菊の花に綿をかぶせて菊の香りと夜露をしみこませたもので、宮中の女官たちが身体を撫でたりもしたといい、枕草子や紫式部日記の中でもその風習をうかがうことができます。

中国では、菊の花には不老長寿の薬としての信仰があり、鑑賞用としてより先に薬用として栽培されていたようです。漢方でも薬効を認められている菊の花の種類は少なくありません。

その意匠が皇室の紋章ともされている菊は、まぎれもなく日本を代表する花といえますが、そのルーツは、薬用として中国から伝わ

ったものでもあるようです。薬用ということはさておき、日本では食用の菊花もさかんに栽培されています。日本で菊を食材とするようになったのは、室町時代のころらしく、現在では青森県、秋田県、山形県などの生産地を中心に、さまざまな菊料理がつくられています。

<幹事報告>

◎ロータリー囲碁同好会より

・『第10回ロータリー全国囲碁大会』開催のお知らせ

大会日時 10月22日(土)

9:30 登録受付 10:00 開会式 17:00 表彰式

大会会場 日本棋院会館 (東京・市ヶ谷 1F 対局ホール)

主催 ロータリー囲碁同好会日本支部

共催 第2580、2750両地区

ホスト 東京ロータリークラブ

登録料 7,000円(昼食代、賞品等含む)

◎特定非営利活動法人 地球のステージ 代表理事 桑山 紀彦 氏 より

・8/9 19:00開催の『地球のステージ』における募金協力のお礼

<例会変更>

高山 … 10月6日(木)は、濃飛分区IMのため
2日(日) 飛騨・世界生活文化センターに変更
11月3日(木)は、法定休日(文化の日)により休会
11月17日(木)は、紅葉同伴例会のため
18:00~ 高山グリーンホテル に変更

高山中央 … 10月3日(月)は、濃飛分区IMのため
2日(日) 飛騨・世界生活文化センター に変更
10月10日(月)は、法定休日(体育の日)により休会
10月24日(月)は、定款第6条第1節により休会

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40名	3名	43名	43名	100.00%
本日	36名	—	36名	44名	81.82%

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会報告

新会員入会挨拶

吉川 晃市さん

高山出身ですが、関西等で生活した後、地元に戻り喫茶店をはじめました。自分には敷居の高い世界だと考えておりましたが、宝生閣の井辺社長に熱心に誘っていただき入会させていただく運びとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。



＜本日のプログラム＞



青少年育成委員会

委員長 遠藤 隆浩

本日の講師、中切 智子 様をご紹介します。

中切様は大学卒業後岐阜県庁へ入庁し、西濃福祉事務所を始めとして高齢者、障がい者等の福祉行政に12年、生活保護の現業員、査察指導員として6年、また児童相談所にて心理

判定員として3年勤められました。平成21年4月より飛騨子ども相談センター 児童福祉司兼家庭支援課長として勤務され、現在に至ります。

本日は家庭における虐待についてお話しいたします。よろしくお願いいたします。



飛騨子ども相談センター 家庭支援課長 中切 智子 様

本日は、高山西ロータリークラブの青少年育成委員会担当例会に、お招きいただきありがとうございます。

先ほど、ご紹介をいただきましたが、私は現在 高山市千島町にあります、「飛騨子ども相談センター」に勤務しています。

子ども相談センターについては、ご承知かとは思いますが、「児童相談所」のことで。高山市千島町に移転したのは、昭和59年で、以前は高山市上一之町にありました。平成10年に、当時の知

事が県民の皆様親しんでいただけるよう「子ども相談センター」と名称を変更しました。子ども相談センターは、県下に5カ所あり、飛騨子ども相談センターは、高山市・飛騨市・下呂市・白川村を管轄しています。対象は、18歳までの子どもさんの相談を受け付けています。その相談に来るのは、児童福祉司と児童心理司・保育士です。

私は、家庭支援課長ですが、児童福祉司でもあります。また、所長も児童福祉司の経験者です。

子ども相談センターで何をするかというと、病院をイメージしていただくとわかりやすいと思います。まず患者さんに、症状を聞き、病名をある程度見立て、必要に応じて検査をする。その検査結果で、見立てを再度確認し、治療する。時には、入院や手術も行われます。

子ども相談センターも、同じように、相談者の悩みを聞き、その原因をある程度見立て、必要に応じて検査をし、その見立てが正しかったかどうかを確認し、原因をなくすためにどうしたらいいかを相談者と一緒に考えます。時には、子どもさんの安全のため、一時的に保護したり、施設に入っていたりするときもあります。

言い換えると、飛騨子ども相談センターとは、「飛騨地域の18歳までの子どもの相談に、いろんな調査・検査・観察をして、原因を突き止め、解決する」ところとだけいただければと思います。

今回お話しさせていただくのは、飛騨地域における「児童虐待」の現状と課題についてです。

資料をご覧ください。

相談対応件数の増減は、平成20年度から平成23年7月末までの件数を5つの子ども相談センター別にまとめました。

この衰から虐待件数が飛騨地域では年々増加していること。

そして、その増加率は他の地域より大きいことがわかります。

児童人口から割り戻すと、県全体では538.6人に1件の発生率に対して、飛騨地域では、発生率が363.1人に1件になり、この数字も、県下1位です

相談件数が増加している理由は、学校からのご相談いただく数が年々多くなってきたことが考えられます。

登校した児童に、アザを発見されたり、給食時間になるとガツガツ食べる割には、体重の増加がない。欠席が続いたり、遅刻が多くて心配な児童を心配して、ご相談されるケースが増えてきました。

虐待相談のケースは、増加していますが、施設に入るケースの割合は減少しています。このことは、早期に発見していただいている「賜」だと感謝しています。

資料の下段をご覧ください。虐待種別です。

1. 殴ったり、蹴ったりする「身体的虐待」2. 子どもが話したい、甘えたいなどの子どもの欲求を無視したり、夫婦げんかを見せたり、DVを見せる「心理的虐待」3. 子どもに性行為を見せたり、強要したり、裸の写真を撮るなど、「性的虐待」4. パチンコ店で子どもを置き去りにするのは「ネグレクト」と呼ばれています

例会報告

が、食事を与えない、学校に登校させない、お風呂に入れないことも「ネグレクト」といいます。

この表からは、死亡リスクが高い0歳～3歳の子どもは、飛騨地域ではネグレクトが多く、全体として、小学生までの相談が高い(83%)

小学生でも高学年になると、身体的虐待が少なくなります。子どもの腕力も体力もつき、家庭内暴力や家出、深夜徘徊等非行に移行する場合があります。

少年院の統計では、入っている人の8割は虐待を受けて育ち、その内の80%は実父母による虐待との報告があります。

では、誰が虐待をするのか。ここにも書きましたが、実の母親です。県平均では、62.4%ですが、飛騨地域では73.7%が実母です。

虐待している家庭環境として、ひとり親家庭 23.5%、生活困難な家庭 33.3% 夫婦が不仲 19.6%親戚や近所から孤立している 19.6% また、虐待している人の生育歴を調べると、21.6%は、虐待を過去に受けており、ひとり親家庭で育った人は、11.8%でした。

全体の3分の1は、生育歴に問題があり、そのため、子どもへの接し方、愛情のかけ方がわからず、いうことを聴かない子どもを、何とかしようとして、自分も育てられたとおり、たたかれて育った人は、たたいて育てようとして、このケースは、愛情の間違った使い方(子どものためにとあって)で、親子関係が悪循環に陥ってしまうことが原因で起きている虐待だと思えます。

また、家族団らん、暖かい家庭を体験したことのない人がいて、どうやって遊んだらいいか、どうやってしつけたらいいかわからず、結局なにもしつけることができず、子供の言いなりになる保護者もいます。このケースも、愛情の伝え方がわからず、起きている虐待だと思えます。

子ども相談センターは、「子どもの虐待とは、親や身近な大人が、子どもに愛情の間違った使い方をしてしまう事」と定義づけています。子ども相談センターは、この悪循環を裁ち切り、「愛情の正しい使い方」をお父さんやお母さんと一緒に考えようとしています。

最後に、皆様をお願いしたいことがあります。

どの親も子どもに愛隋を注ぎます。でも、時として「愛情の間違った使い方」をすることがあるかもしれません。そのときに、「しまった」「かわいそうなことをした」と気づき、修正されれば、問題ありません。

子どもの健全な成長を地域の皆様で支援するためにも、「なにか心配なことはない?」「大丈夫やさ。うちの子もそうやったよ。」「こんな時は、こんなふうにしてみたら。」と声をかけてください。

それでも修正されないときは、子どもの未来のために、飛騨子ども相談センターに相談してください。

あなたが心配していることを、まず伝えてください。

<ニコニコボックス>

●齋藤 章さん

- ・飛騨子ども相談センター 家庭支援課長 中切 智子様よくおいで下さいました。卓話よろしくお願ひ申し上げます。
- ・吉川晃市さんの入会を歓迎申し上げます。

●井辺 一章さん

- ・吉川さんの入会を歓迎いたします。
- ・台風12号、大きな爪痕を残し大変でした。9.11同時多発テロから10年。二度とない事を祈ります。

●遠藤 隆浩さん、垂井 政機さん

中切 智子さん、今日はお話ありがとうございます。児童虐待という重いテーマですが、よろしくお願ひします。

●門前 庄次郎さん

中切 智子様、本日はお忙しい中ご来訪いただきありがとうございます。日頃は主任児童委員会でお世話になっております。本日の卓話楽しみにしています。

●折茂 謙一さん

中切様、本日のご講話楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。

●田近 毅さん

- ・飛騨子ども相談センター 中切 智子課長様のご来訪を歓迎いたします。小児虐待でロータリーが協力出来る事があつたらお教え下さい。
- ・インターアクト年次大会後行われた「地球のステージ飛騨高山公演」の事業報告が出来ましたのでご報告させていただきます。震災支援金10万円集まりましたので桑山さんを通して寄付させていただきます。
- ・岡田さん「原発はなぜ日本にふさわしくないのか」の本、読ませていただきました。環境保全に頑張ってください。本代をニコニコへ。

●野戸 守さん

前回例会で20年のお祝いをありがとうございました。島卓三さんの会長時入会して32年目を迎えます。今迄何だったのか。役に立たなかった事を反省しています。

●堀手 康介さん

先週は結婚記念日のお祝いを頂きましてありがとうございました。来年は10年のスイートテンですので、今年は何の祝いもせず自粛し質素なディナーで済ませました。今から来年に向け500円貯金を始めようと思っています。

●河渡 正暁さん

今度、高山市教育委員会とは別に教育振興会議という会が本日立ち上がります。私はその会議に出席するため本日早退します。

●小林 勝一さん

今日は早退します。よろしくお願ひします。